

事業者からの放課後デイサービス事業所評価の集計

公表：令和3年3月31日

事業所名：運動療育センターすきっぷ 美和台教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	【はい】 職員配置は適切であるが、専門性については個々のスキル向上に努める必要がある。	◎職員教育に努め、専門性に関しても研修会等の参加をすることで個々の専門性向上に努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	72%	28%		◎業務改善を進めている段階であるが、職員全体の周知、意識に関する教育は必要である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%	14%	【はい】 アンケート調査による調査は今回美和台教室は初めてだが、保護者との面談等で意向を聞き把握に努めている。	◎今回のアンケート調査結果を下に保護者等の意向を把握し、業務改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	72%	28%	【いいえ】 ◎分らないです	◎新しい職員にも自己評価の目的等を教育していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	58%	42%	【はい】 職場訪問等の研修を取り入れ、外部評価を取り入れている。 【いいえ】 ◎分らないです	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	【はい】 ◎週1回の研修やオンラインでの研修に参加をしている	◎外部等で学んだ研修等は、事業所内で情報提供出来る時間等を作り職員に共有できるように努める
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		◎共通したアセスメントの形式を用いることでお子様等のニーズ・課題把握していけるように分析し計画書作成に繋げていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	【いいえ】 ◎アセスメントの標準化を改善する必要がある。	◎共通認識のアセスメントシート作成段階である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	【はい】 ◎土日や長期休み等は子供の飽きないように様々なプログラムを考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	86%	14%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86%	14%	【はい】 朝礼や昼礼の時間を設けることで役割を明確にしている。	◎職員間のコミュニケーションをもっと取れるような雰囲気作りに努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	【はい】 ◎終礼の時間を設け、振り返り等を職員間で共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86%	14%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%	【いいえ】 分らないです	◎職員に周知していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	86%	14%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	72%	28%		◎必要に応じて受け入れ、連絡体制を整え強化していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	42%	58%	【いいえ】 ◎分かりません	◎契約時に保護者様から頂くサポートブック等で活用しながら情報を共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	42%	58%	【いいえ】 ◎分かりません ◎現状、卒業した利用児童がいない。	◎お子様の先の見通しをイメージしながら福祉サービスに関しては学んでいく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	42%	58%	【いいえ】 ◎わかりません。	◎研修会等に参加し、連携を強化していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	100%		◎コロナ禍の為、他児との交流を積極的にしていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	14%	86%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	28%	72%	【はい】 面談時や送迎時に助言等を行っている。	◎個々のスキルや専門性を磨き、より助言や指導ができるように体制を作っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	72%	28%		◎職員誰もが共通した理解が出来るように職員教育に努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	72%	28%		◎個々のスキルを磨き、より助言や指導ができるように体制を作っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	100%	【いいえ】 ◎定期的な保護者会を開催できていない	◎現在はコロナ禍の為控えている。コロナウイルスの状況を見ながら、保護者様等が参加できる企画等も検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	72%	28%		◎職員教育の中で様々なご意見を想定しながら対応できるように努めている。

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	42%	58%	【いいえ】 HP等はあるが発信できていない。	◎HPを活用し、発信できるように努めていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86%	14%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	100%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	72%	28%	【いいえ】 ◎保護者様に周知しているか分かりません	◎職員や保護者様に周知しやすい体制を整えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	86%	14%	【はい】 活動のひとつに避難訓練を定期的に取り入れている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	58%	42%		◎職員教育、研修会内容の充実。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	42%	58%	【いいえ】 ◎原状、身体拘束を必要としている児童はいない。 ◎今のところ質問に当てはまる子どもはいない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	42%	58%	【いいえ】 お母様からの情報での対応になっている。 保護者の方からの情報をもらっている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%		